

構成・制作
佐々木 瞬
伊達 伸明

Directed and created by
SASA Shun and DATE Nobuaki

自治と
バケツと、
ヤノがちの 実

ーエピソードでたぐる 追廻住宅ー

Buckets, Saikachi, and
Collective Neighborhood Governance
— Exploring Oimawashi houses with episodes —



2023年
11月3日(金・祝)～12月24日(日) せんだいメディアアテーク

Nov. 3 (Fri & Holiday) — Dec. 24 (Sun), 2023 | sendai mediatheque 6階 ギャラリー4200

時間— 10:30-18:30(入場は18:00まで) | 休館— 11月30日(木) | 入場料— 一般500円(大学生・専門学校生含む)、高校生以下無料、仙台市内在住の65歳以上の方や障害者手帳等をお持ちの方は半額

構成・制作
佐々木 瞬
伊達 伸明

Directed and created by
SASA Shun and DATE Nobuaki

自治と
バケツと、
ヤノがちの 実

ーエピソードでたぐる 追廻住宅ー



2023年
11月3日(金・祝)～12月24日(日) せんだいメディアアテーク

Nov. 3 (Fri & Holiday) — Dec. 24 (Sun), 2023 | sendai mediatheque 6階 ギャラリー4200

時間— 10:30-18:30(入場は18:00まで) | 休館— 11月30日(木) | 入場料— 一般500円(大学生・専門学校生含む)、高校生以下無料、仙台市内在住の65歳以上の方や障害者手帳等をお持ちの方は半額

Buckets, Saikachi, and
Collective Neighborhood Governance
— Exploring Oimawashi houses with episodes —

空襲で仙台駅前の家が
焼かれて移り住んだ



▲ 1956年 撮影：中嶋忠一さん

2023年、

仙台市川内追廻地区が

青葉山公園になりました。

この場所にかつてあった追廻住宅。

その77年にわたる歴史や暮らしを振り返る

展覧会を開催します。

構成・制作に、

地域の人々の営みを調べ

表現するアーティスト、

佐々瞬、伊達伸明を迎え、

自らの手でつくりだしてきた

生活のありようと街の姿について、

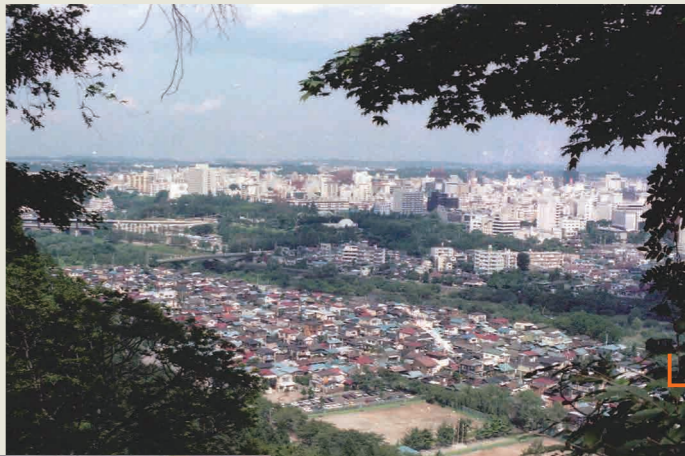
個々の目線から街の点描を試みます。



▲ 撮影：鈴木謡子さん

石ころの上に
5センチ角の柱を
建てた四軒長屋

八百屋が5軒。
魚屋は3軒。
豆腐屋は3軒。
床屋は東西南北に4軒



▲ 1997年頃 撮影：中嶋忠一さん

立ち退きについては
子どもだったから
よくわからなかった。
ずーっと追廻に
住むって思ってた。



▲ 1994年



▲ さいかちの木 撮影：松山正将さん



▲ 2011年 撮影：渡邊曜平さん



▲ 撮影：鈴木謡子さん

外出してる間
のわか雨。
でも隣のおばあちゃん
が洗濯物を取り込んで
くれている



▲ 広瀬川(左が追廻地区) 撮影：江刺拓司さん

広瀬川で洗濯

お祭りを抜け出し、
コンコンさんで
肝試しをした



▼ 「神輿渡御」(絵巻)の一部

smt せんだいメディアテーク
sendai mediatheque

〒980-0821宮城県仙台市青葉区春日町2-1
電話 022-713-4483 | FAX 022-713-4482
メール office@smt.city.sendai.jp

主催—せんだいメディアテーク(公益財団法人 仙台市市民文化事業団)
協力—新田住宅親和会、青葉山公園・仙臺緑彩館(青葉山エリアマネジメント)、仙台市民図書館
助成—一般財団法人 地域創造
後援—NHK 仙台放送局、t b c 東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、khh 東日本放送、河北新報社、朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞仙台支局、日本経済新聞社仙台支局、仙台リビング新聞社、せんだいタウン情報S-style、Date fm、ラジオ3FM76.2MHz



展覧会ウェブサイト
https://www.smt.jp/projects/oimawashi/



Twitter

この紙はリサイクルできます

【構成・制作】

佐々瞬(ささ・しゅん)

1986年宮城県生まれ。2009年東京造形大学美術学科絵画専攻卒業。東日本大震災後、半壊した宮城県沿岸部・新浜の住宅を借り受けるなど、直接的な土地との関わりを通じて過去の出来事を現在に捉えなおす制作活動を行う。追廻地区のリサーチを元にした展示に「とある発掘とレポート、その準備」(2015年、黄金町エリアマネジメントセンター)、「公園／ローカルの流儀」(2020年、Gallery TURNAROUND)、「ナラティブの修復」(2021年、せんだいメディアテーク)。近年の展示に「未来、もしくは架空の長井のこと」(2022年、文教の杜ながい)。

伊達伸明(だて・のぶあき)

1964年兵庫県生まれ。1991年京都市立芸術大学美術学部大学院工芸科修了。取り壊される建物から、生活痕など記憶のこもる部材を用いてウクレレを制作し、元の住人に手渡すプロジェクト「建築物ウクレレ化保存計画」を実施。これまでに寺院、学校、一般住宅など約80物件を手掛ける。各地で地域資源再発掘型の企画に携わり、仙台では「垂炭香古学」(2012～2015年)を監修。主な展示に「豊中市立市民会館おもしろ展」(2014年、豊中市立市民ギャラリー)、「アートと考古学展—物の声を、土の声を聴け—」(2016年、京都文化博物館)、「ナラティブの修復」(2021年、せんだいメディアテーク)。

【関連イベント】

ギャラリートーク

本展を制作したアーティスト、佐々瞬・伊達伸明による展示解説

① 11月5日(日) ② 12月2日(土) いずれも13時30分～15時

直接会場へ、参加には入場料が必要です。

【同時開催 | 会場：仙臺緑彩館】

「追廻いろはにほへと」

青葉山公園にある仙臺緑彩館では、広瀬川右岸で環境測量を行ってきたエンジニアの調査資料を中心に、仙台城跡や追廻地区の見どころや、政宗公の娘である五郎八姫に関する資料など、幅広い領域を展示で紹介しています。(休館日：12月7日)

会場へは公共交通機関を
ご利用ください

【会場アクセス】

徒歩／仙台駅より約20分

地下鉄／南北線勾当台公園駅下車、「公園2」出口から徒歩6分。東西線大町西公園駅下車、「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分。

バス／仙台市営バス 仙台駅前60番(仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前)のりばから「定禅寺通市役所前経由交通局大学病院」行きで約10分、メディアテーク前下車。



「追廻住宅について」

青葉山と広瀬川の間に位置する川内追廻地区の国有地には、戦後、住宅営団により「応急簡易住宅」が建設され、戦争で家を失った人や海外から引き上げた人が暮らしはじめました。その後まもなく住宅営団が解散となったため、住民は建物を買い取り、土地の賃借料を国に支払いそこに住み続けることにしました。しかし一方、すでに市は都市計画でこの地区を公園緑地にするかとしていたため、住宅地としてのインフラ整備は充分に行いませんでした。そこで、住民たちは資金を出し合い自分たちで道路を舗装し、水道を引くなどして暮らし続けました。長い間、市と住民は移転について話し合いを重ね、2023年2月、最後の一軒の解体を経て、「追廻」というひとつの街がなくなることとなりました。

参考：「追廻住宅親和会60年のあゆみ」「仙台市史」「仙台都市計画史」